



## ～松山地域小学校の統合に向けて～

松山地域の小学校統合に関する「第1回統合準備委員会」が、6月4日（火）に松山公民館ホールを会場として開催されました。地域の皆様、各学校の保護者の皆様等のご理解をいただいた上で、学校統合に向けた実質的な第一歩を踏み出しました。初回の会議ではありましたが、活発な意見交換がなされました。



＜第1回統合準備委員会の様子＞

### 【報告・協議等の状況】

初めに、統合準備委員会委員選出状況と統合準備委員会・統合方針及びこれまでの取組状況、松山小学校の校舎改修工事について、事務局から報告がありました。続いて協議事項に入り、正副委員長の選出が行われ、委員長に松山まちづくり委員会監事の斉田久典氏が、副委員長に下伊場野小学校PTA会長の山口孝氏が選出されました。

協議事項として、「総務部会・学校教育部会の設置」「松山地域学校統合全体スケジュール」「統合校の校名・校章・校歌」について事務局より案が示され、委員長の進行により、それぞれの項目について、ご協議いただきました。

### 【報告事項】

#### ○松山地域学校統合準備委員会設置要綱

組織、任期、委員長・副委員長の設置、会議、専門部会等について

#### ○松山地域学校統合に係る統合方針

統合時期、校舎位置、校名、校章、校歌、教育環境（ソフト面とハード面）、スクールバスの運行、放課後児童クラブ、運動着の費用負担、伝統芸能の継承、地域との連携、公民館の役割、跡地利活用等について

#### ○松山地域学校再編～これまでの取組とその方向性～

合意形成までの流れ（令和4年度・5年度のアンケートの実施）、学校再編説明会等開催状況、松山地域の児童生徒数の推移、松山小学校校舎改修案等について

### 【協議事項】（事務局提案）

#### ○委員長及び副委員長の選任について

#### ○松山地域学校統合全体スケジュールについて

#### ○総務部会・学校教育部会の設置について

#### ○統合校の校名・校章・校歌について

### 【いただいた主な質問と意見】

#### ＜総務部会と学校教育部会の設置について＞

○内容が多いため分けた方が良いでしょうが、分けた場合はこの場に新たなメンバーが加わるということでしょうか。

⇒部会は部会員と事務局で細かい内容について協議を行い決まった内容や案を準備委員会へ提案し承認いただくものになります。

#### 松山地域学校再編案

【統合対象校】松山小学校、下伊場野小学校

【統合校の種類】小学校

【統合校の位置】松山小学校

【統合する時期】令和8年4月

【開校時児童数】160人（予測）

○閉校式と開校式は3月末と4月に行うのでしょうか。

⇒こちらは検討事項ということで閉校式と開校式を記載させていただきました。閉校式は学校、保護者、地域の方で閉校記念事業実行委員会を立ち上げていただき、教育委員会から補助金を出して閉校式や記念事業、記念品の作成などを実施していただくものになります。実際に協議する場合は実行委員会となりますが、そのとりまとめとして総務部会の協議項目とさせていただきます。また、開校式は学校の事業として行うもので学校が落ち着いて子どもが新しい環境に馴染んだ5月中旬頃に地域の方や関係団体をお呼びして実施するというような形がこれまでの事例となっています。

○内容が盛り沢山となりますので2つに分けた方が良いと思います。

○学校教育部会は学校の運営ですし、総務部会は子供たちの補佐といいますか周りの環境ですので2つに分けた方が良いと思います。

○詳細について協議することになるので、準備委員会で全て協議するのは難しいと思います。保護者や教員が入っていただき、それぞれの部会で協議した方が効率的で良いと思います。

（その他の委員からも「2部会の設置で」というご意見をいただき、「2つの部会を置く」で決定）

＜統合校の校名・校章・校歌について＞

○校章や学校名を決めるということは重要なことだと思います。他の地域はすぐに決定したのでしょうか。次回で良いので松山小学校と下伊場野小学校の校章と校歌を資料として出していただきたい。

＜その他・跡地利用に関して＞

○総務部会と学校教育部会から提案されたものに対して意見を言えるのでしょうか。また、意見を言った時は部会へ持ち帰り、再度検討をして提案するというのでしょうか。

⇒部会で決まった内容については準備委員会で承認事項ということで、提案された内容で良い時は承認、直す部分があれば部会に戻して再度協議していただき新たに提案いただくものになります。

○水辺の楽校運営協議会の会長をしております。運営協議会は学校が無くなっても続きます。本日の資料の中に跡地利用については閉校後に協議を行うとありましたが、それでは2年遅れてしまいます。できれば、並行して協議していただけるよう担当課に伝えていただきたい。きれいにすることで自分たちの水辺の楽校なんだという意識が地域にありますので、同時並行で下伊場野小学校の利用について検討したい。加えて、特色のある活動の一つにカヌー教室があり、保護者、松山総合支所、国交省に協力いただきながら親子で実施しています。松山小学校の子どもたちや、他の学校が来ても出来るのではないかと思います。

⇒委員のご意見を踏まえまして担当課と相談して、総合支所を通して調整や回答をしたいと思います。

ただ、この場でどうするかは回答できませんのでご了承ください。

○跡地利用については同時に進めていただければと思います。また、スケジュールの中で1年前に閉校記念事業実行委員会を立ち上げるとありましたが、準備等もありますので他の地域でどのような立ち上げをしたのかお知らせいただければと思います。

⇒これまでの例ですと前年に、実行委員会を立ち上げ、事業計画を作成していただき、市から助金を交付していました。計画を立てるなどの下準備は可能です。

○これまでの統合校の事例では2校で統合した場合は校章校歌をそのまま利用しています。現実的に松山小学校の子が新しく覚えるより少ない方が覚えた方が良くないかと思いますが、無くなってしまふ側の気持ちの方を大切にしたいです。下伊場野の声を最初に吸い上げていただいてから協議していければと思います。また、スケジュール（案）について令和8年まで2年も無い中で協議することも多く部会から提案されたものを承認したり、もしくは再度検討となりますと2年で間に合うのでしょうか。他の地域の例など教えていただければと思います。

⇒これまで学校統合を進めてきたところでは概ね準備委員会を立ち上げてから2年で開校しています。